



阪神グループ

環境報告書 2025

対象サイト:

阪神化成工業(株)	富山工場
	岡山工場
	茨城工場
	御殿場工場
ファーマパック(株)	大沢野工場
阪神容器(株)	大阪本社
	東京支店
	北陸支店
	滋賀営業所
	山形営業所

2025 年 10 月 1 日

阪神グループ
グループ統括本部



目次

トップメッセージ・環境方針	3
環境目標・環境パフォーマンスの概要	4
阪神グループの温室効果ガス排出削減目標	7
環境活動と取り組み	8

トップメッセージ

私たちの生活が便利になる一方、地球では環境汚染やCO2排出量増加に伴う温暖化など、様々な問題に直面しています。

企業には環境に配慮し、持続可能な社会を作っていく責務があります。

阪神グループはプラスチックを主に取り扱う企業として、原材料のリサイクル、リユース、リデュースに取り組むことはもちろん、環境負荷が低い原材料への置き換えにも取り組んでいきます。

私たちは製造工程のすべての段階で環境負荷の低減を図り、環境保護に努めてまいります。

阪神グループ

代表取締役社長 高田 健

環境方針

HANSHIN  GROUP

環境方針

地球環境保護を重要な課題と認識し、以下の取り組みを実行します。

1. 環境マネジメントシステムの下、環境目標の設定及び定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
2. 事業活動が環境に与えている影響を評価し、環境負荷低減及び環境保護に努めます。
3. 法令を順守し公害・汚染の予防に努めます。

代表取締役社長 高田 健

HANSHIN  GROUP

環境目標

2024年度 阪神グループ環境目標

①生産性の向上及び不良品発生の低減

業務手順の見直しや不良の再発防止を行うことで、製品の立ち上げまでの時間の短縮や、不良品の発生低減につなげる。

②資源の節約(エネルギー、副資材など)

モノを大切に使う意識を高く持ち、省エネ活動を進め、コスト低減につなげる。

③緊急事態への準備及び対応

緊急事態における有害な環境影響を防止、または緩和するための対処を整備し、社会的責任を果たす。緊急事態を想定した定期的な災害シミュレーションの実施や自身の役割を認識する。

環境パフォーマンスの概要

2024 年度実績

使用量 (INPUT)

事業活動

排出量(OUTPUT)

エネルギー

Scope1

・ガス
456,292.1(m³)
・液体化石燃料
41,196(l)

Scope2

・電気
29,437,095(kWh)



製造



販売



企画・開発



温室効果ガス
(CO₂ 換算)

16,915(tco₂e)

エネルギー使用量(INPUT)と排出量(OUTPUT)

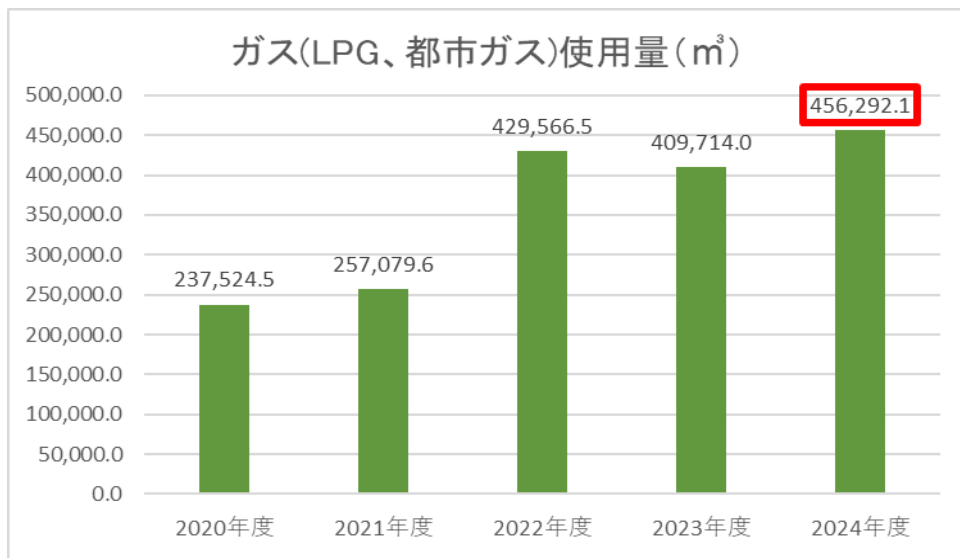
使用量(INPUT)

Scope1

ガス使用量の推移

2024 年度実績は、前年度比使用量+46,578.1 m³、11.4%の増加となりました。

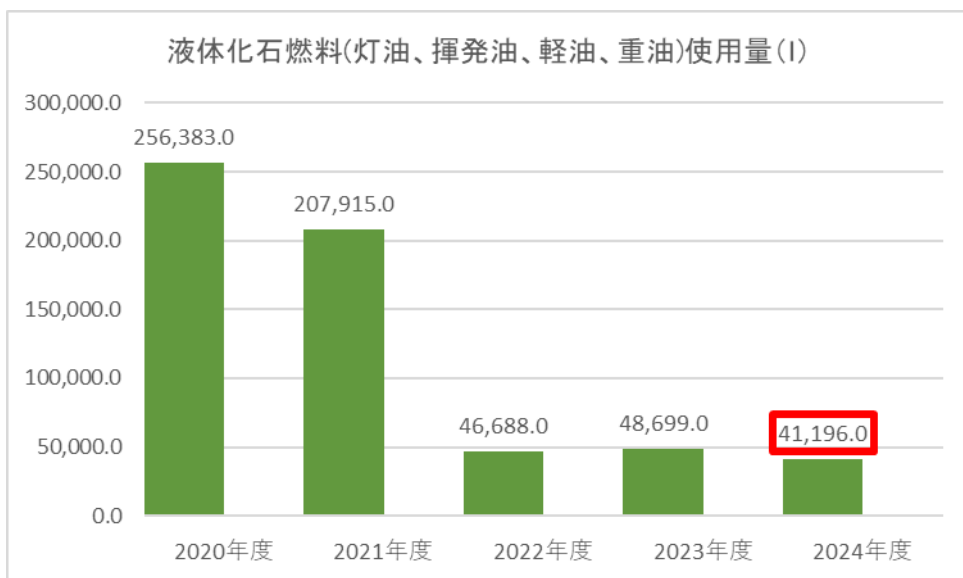
ガスを空調のほか、成形設備に使用しているため、稼働率及び生産量の増加により使用量が増加しました。茨城工場では 2022 年 1 月よりボイラーの燃料を重油から環境性能が優れているガスへ変更しており増加の要因となっております。



液体化石燃料(灯油、ガソリン、軽油、重油)使用量の推移

2024 年度実績は、前年度比使用量▲7,503ℓ、15.4%の削減となりました。

社有車で使用するガソリンの使用量を削減するため、電気自動車やハイブリッド車に切り替えを進めております。茨城工場では 2021 年 12 月まで重油を使用しておりましたが、現在は重油に比べて環境性能が優れているガスへ変更しております。



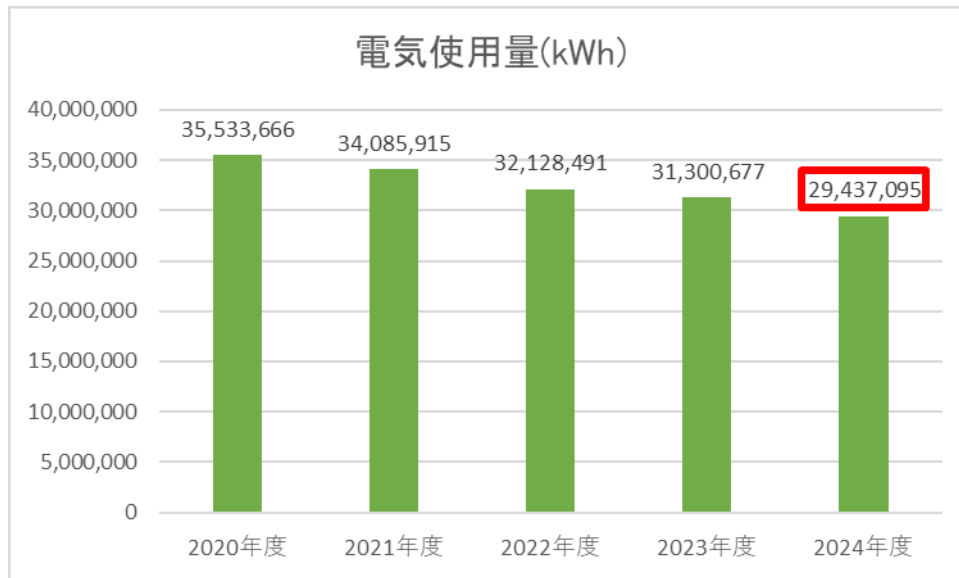
Scope2

電気使用量の推移

2024 年度実績は、前年度比使用量▲1,863,582kWh、6.0%の削減となりました。

社員一人一人が節電を意識し行動した結果や、2024 年度に富山工場、大沢野工場にて導入した太陽光発電設備の効果と考えられます。

2025 年度も適切な電気の使用に取り組んでまいります。

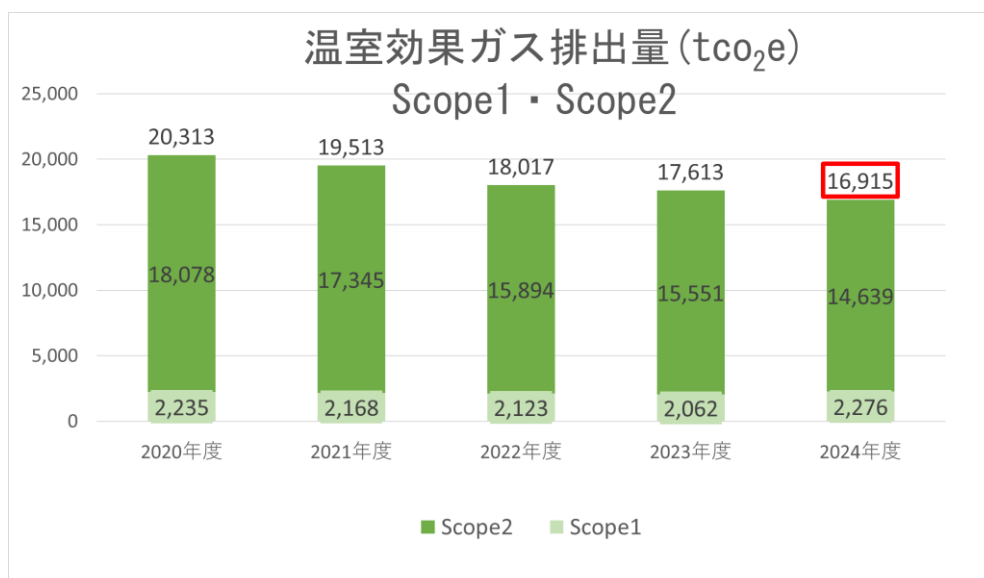


排出量(OUTPUT)

温室効果ガス(CO₂ 換算)排出量の推移

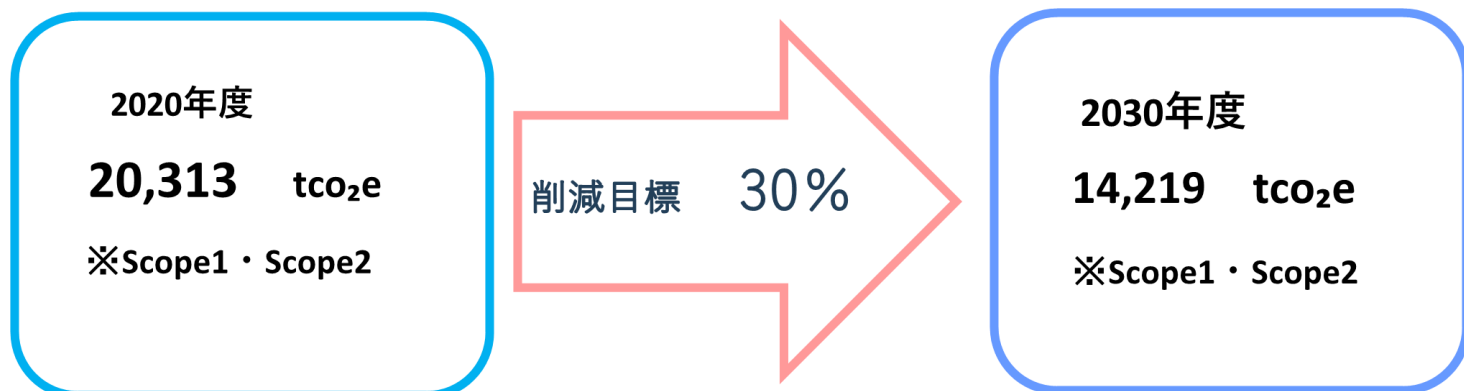
使用エネルギー系としては、電気、ガス、液体化石燃料の 3 項目の内、電気、液体化石燃料の項目で前年度より減少し、CO₂ 換算値として、前年度比で 698t-CO₂e 削減(4.0%削減)となっております。

2020 年度比で 3,398t-CO₂e 削減(16.7%削減)。



阪神グループの温室効果ガス排出削減目標

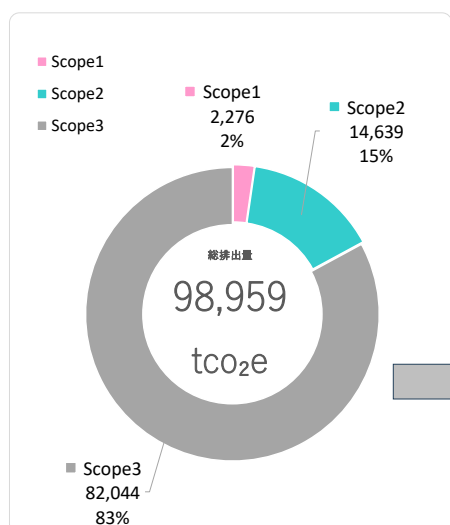
阪神グループでは「2030 年度までに CO₂排出量 30%削減」を目標とし、日々省エネ活動に取り組んでいます。



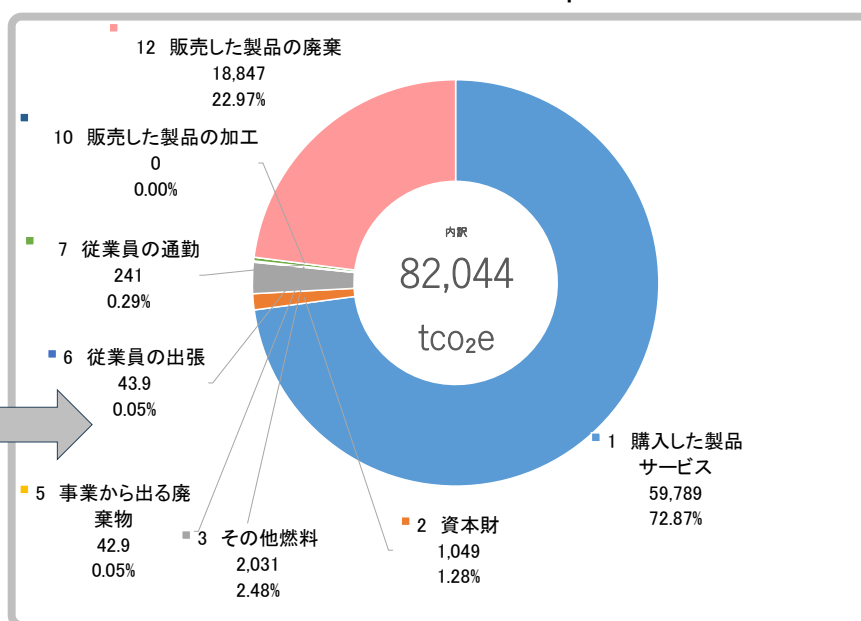
2024 年度より CO₂算定システムを導入し、自社領域におけるエネルギー起源の CO₂排出量 (Scope1) の他、間接排出量 (Scope2)、その他の間接排出量 (Scope3) を把握することにより、温室効果ガスの低減に取り組んでいます。

2024 年度の Scope3 を算定した結果、当社グループ総排出量に占める Scope3 の割合が 83%であり、内訳を見ると「カテゴリー1: 購入した製品サービス」と「カテゴリー12: 販売した製品の廃棄」の排出割合が高いことが分かりました。

2024年度 総排出量

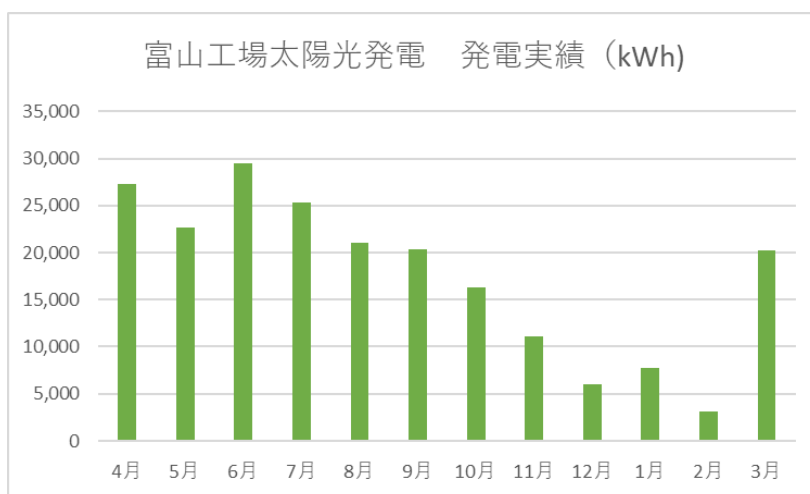


2024年度 Scope3



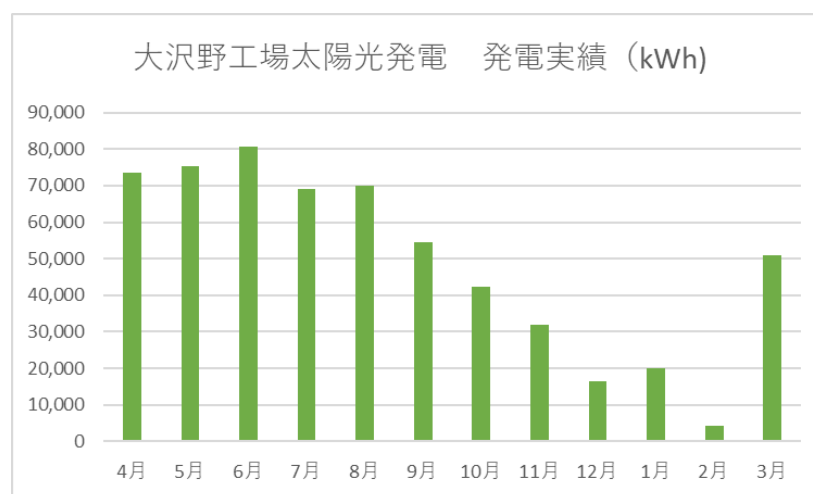
環境活動と取り組み

2024 年 3 月に阪神化成工業(株)富山工場 第 5、6、7 工場屋根に太陽光発電設備を設置しております。2024 年度の発電実績は 210,622kWh でした。温室効果ガス約 108tco₂e 削減の効果がありました。



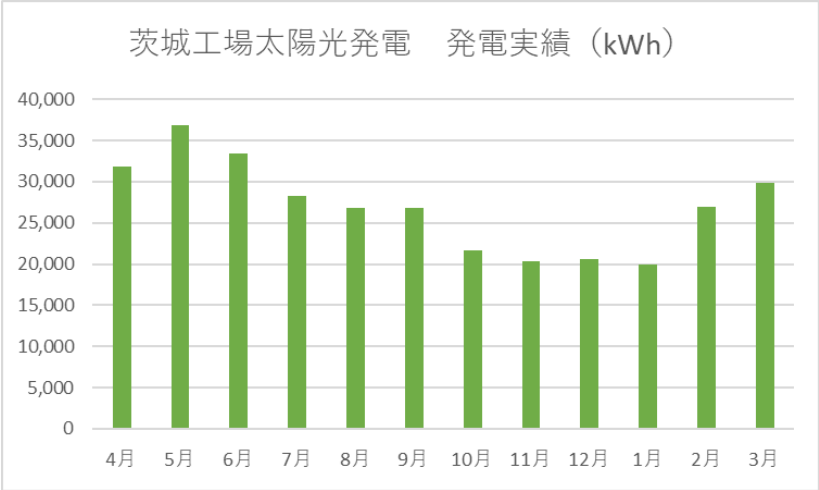
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2024年	27,281	22,618	29,509	25,332	21,051	20,299	16,297	11,067	6,011	7,734	3,168	20,255	210,622

2024 年 2 月にファーマパック(株)大沢野工場 第一工場、第二工場の屋根に太陽光発電設備を設置しております。2024 年度の発電実績は 588,822kWh でした。温室効果ガス約 302tco₂e 削減の効果がありました。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2024年	73,512	75,477	80,615	69,023	69,895	54,528	42,374	31,813	16,456	19,964	4,170	50,996	588,822

2021 年 11 月に阪神化成工業(株)茨城工場の屋根に太陽光発電設備を設置しております。2024 年度の発電実績は 323,305kWh でした。温室効果ガス約 126tco₂e 削減の効果がありました。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2024年	31,879	36,849	33,382	28,328	26,835	26,835	21,601	20,388	20,553	19,962	26,904	29,789	323,305

2024 年 11 月に阪神化成工業(株)富山工場のコンプレッサー1台及び台数制御盤を更新しました。新設備は旧設備と比較して省エネ性が高く、コンプレッサーは社内では省エネ診断をした結果、削減電気量 44,819kWh/年、削減 CO2 排出量 21.5t-CO₂/年の効果が見込めます。また、台数制御盤は設定圧力に応じた適正な稼働制御を行うことで省エネに繋がります。



コンプレッサー



台数制御盤